

荒尾・玉名・山鹿支部報告

熊本県立鹿本農業高等学校
教諭 堀内 誠一郎

令和7年（2025年）1月28日（火）午後2時より熊本県立鹿本農業高等学校会議室にて荒尾・玉名・山鹿支部の企業・高校による意見、情報交換会を県事務局理事長、支部長、支部事務局長をはじめ、企業側5名・学校側15名、計20名で実施できた。

支部内加盟各校の進路状況や意見交換をまとめたものです。

1 令和6年度 進路状況（進学・就職は合格・内定数）

	在籍	進学	就職（県内）	就職（県外）	未決定
北稜高等学校	66	22	36	2	6
鹿本農業高等学校	40	13	21	5	1
玉名工業高等学校	204	36	76	88	4
鹿本商工高等学校	91	25	47	19	0
玉名女子高等学校	143	104	18	7	13
有明高等学校	162	119	12	21	10
城北高等学校	201	120	50	12	19

令和7年1月15日までの提出分で集計

2 今年度の求人・就職状況の特記事項

（北稜高等学校）

求人数が1,966件（県内：536件、県外：1,430件）と昨年よりさらに増加しており、今まで来ていなかった企業からの求人も増えた。特に求人票を直接持参される企業が多く、2次募集や3次募集等の問い合わせも多い。企業の人材確保に対する意識が高いと感じている。今年度は不調者が多く、2回目、3回目の挑戦で内定を頂いた。現在も就職先を検討している生徒がいる。一般就職以外の生徒がいるため、玉名公共職業安定所等と連携しながら、対応している。

（鹿本農業高等学校）

求人数を見ると全体的に昨年度よりもさらに増加している。九州と関西、中京、関東とほぼ全地域で増加していると共に、県内の増加率も高い。内容的には昨年より基本給を1～2万円上げたり、休暇を増やしたり、また社宅や住居手当を充実させたりする企業等が多く見られた。地元の製造業を中心に本校からここ数年で実績のある事業所等への希望が中心であった。公務員については、自衛官希望者で一名、「一般曹候補生」及び「自衛官候補生」に合格した。

（玉名工業高等学校）

求人数は年度ごとに求人数アップ。3548件。県内700件超。有効求人倍率は2.2倍を超えた。県内県外の割合は半々で若干県外が多い。本田技研、県外企業として採用され、就業場所は県内のような形態もあり地元思考が強い。台湾への大学進学者が一名いる。マイスター制度で地域の企業の説明会を学校で実施している。

（鹿本商工高等学校）

4月から来校者が多く、特に7月は求人の訪問が一日20社を超えるようになった。求人票の受付数が10月には昨年度（3,090人）を超えていた。県内の求人で事務職（一般事務・工事事務・生産管理事務等）が昨年度より増加し、本校では9名が内定した。

（玉名女子高等学校）

自動車関連企業や半導体企業からの求人が増え、生徒が好条件の企業を選べる環境にあった。

（城北高等学校）

初任給をはじめ、労働条件が改善されている。普通科における就職希望者の数が減少している。台湾への大学進学希望者が2名いる。

意見情報交換・要望事項等

- ・学校側の進路先決定までのスケジュール的システムを教えてほしい。（企業）
- ・2年生までに担任や進路部と面談を行い、方向性も持たせている（学校）・仕事に必要な資格も入社してからも取れるようなシステムや研修を提供している。（企業）
- ・各校のインターンシップの時期を教えてもらいたい。（企業）
- ・生徒さんが受験先を決める時の条件などの要素や動機を知りたい。（企業）
- ・知名度や先輩がいる等の安心感、3～40分の車通勤距離圏内。休暇を優先し、給料よりも安心感や距離を気にしている学生が多い。（学校）
- ・インターンシップで職場経験をし、ガイダンスの影響力が大きく、ブースを多く回ってイメージやモチベーションを高めて決定につなげている生徒が多くなった。（学校）